

2020年 第1回高井たかし後援会幹事会議事録

開催日時	8月8日(土) 13:30~15:30
開催場所	ピュアリティーまきび 会議室
参加人数	会場 16名(秘書3人含む) リモート参加 4名の計 20名
文責	下山 宏昭

<次第>

1) 尾崎博後援会会長 挨拶

(概略) 今回の高井議員の不祥事に関しては、後援会会長として会員の皆様に対して責任を感じている。また7月18日(土)に開催された定期総会の際提出されたアンケートの中に「後援会の体質が古い。会長、副会長、幹事長は交代して若手中心の執行部で、具体的な戦略を立てるべきだ」という意見もあった。

私もその意見に同感し、会長の私、清水副会長、下山幹事長はこの際辞任し、新しい執行部で態勢立て直しをしていただきたい。

2) 高井議員(リモート参加)

—今後の政治活動について—

(概略)

*執行部の皆様に責任は全くない。ひとえに私の責任で、誠に申し訳なく謝罪の言葉も見つからない。

*先の総会では、出席してくださる会員は少ないと覚悟していたが、予想を超える参加をいただき嬉しかった。また多くの方から厳しい叱責をいただき、心から反省している。

*総会でも述べたように、国会議員としてこれからも活動を続けたいという希望を抱いている。

*現在中央では「立憲」と「国民」との合流協議が進められている。両党ともいったん解散して、希望者が新しい党を作ることになっているため、その新党に参加できるよう努めている。従って今は合流協議の中で次の選挙について探っている状況。ただ野党共闘は大切にしたいと思っている。

*女性会員から女性蔑視の意識があると指摘され、改めて自身の意識を考え直し、ジェンダー、DVなどについて詳しいNPOの方の教えを乞い、勉強のし直しをしている。

3) 討議事項

イ) 今後の後援会活動に向けて

(概略) 今後の後援会活動を討議する前に、幹事の中から今回の不祥事を質す意見が出され、高井議員が答える形で進行した。

(幹事)

*ジェンダーなどの問題は、1～2か月で身につくものではない。新党に参加できるかどうかは知らないが、これまで“素晴らしい考えを持つ高井議員の応援を”と依頼してきた人たちに非難され、顔向けできない状況にある。一度引退して出直すことを考えるべきではないか。

*憲法問題などで、高井議員の姿勢に共感して応援してきた。今回の不祥事は心底に女性蔑視の意識があり、容認できない。1区に「立憲」から立候補者がでる可能性があるとしており、すでにポスターが張られている。

*人には長所、短所があることはわかっている。しかし多くの人に“誠実な人”だと説得し、死ぬほど応援してきた人に裏切られた気持ちだ。

*これまで続けてきた野党共闘は大切にしてほしい。今の状況で即選挙突入は難しいように思う。有能な人なので、是非立ち直してほしい。

(高井議員)

*NPOの講習は、私と妻がまず診断を受け、私自身が52週にわたって学び、妻が私の考えが変わったことを認めた段階で一応終了する形になっている。妻がまだ意識が変わっていないと感じたときは、さらに講習が繰り返される形式になっており、一所懸命学んでいる。

*今の段階で議員辞職して、次の選挙に出ないという選択肢は今のところ厳しいと考えている。その時は政治家を続けるかどうかという判断の基準になると思う。今は憲法の問題、原発の問題などやり残したことをやらせていただきたいと願っている。

*ポスターが多く張られているのは、1区だけではない。今の段階では参院選を予定しているから全県に貼られていると思う。

(幹事)

*2年前の水害のとき、真っ先に現場に駆け付け対応した国会議員は高井議員だった。多くの実績をあげており、今回の不祥事ははめられた感もある。しかしまだ肝が据わっていないように見受けられる。民主主義を守る政治の灯を絶やしてはならない。そのためにもご両親、奥方の気持ちを肝に銘じて活躍してもらいたい。

*自分自身が国会議員になれるわけではない。高井議員を通して今の世を質したいと思っている。十分反省して、今後の活躍を期待している。

*今回の事を後援会各員がどう受け止めるかは其々で、それぞれが判断し今後も応援するかどうかを決めれば良い。

*日本の最大の不幸は自民党政権が主導してきた30年来のマクロ経済政策の失政にある。高井議員もやっとそのことに気が付き動き始めた。マクロ経済政策を理解できる数少ない国会議員だからこそできることを果たすために応援を続けていく。

(まとめ)

このほか日本人男性の女性蔑視の意識が他国の男性より高いという指摘や、高井議員

に対する厳しい意見は叱咤激励の意味が込められており、心から受け止めるよう求める意見も出された。

次期衆院選がいつ行われるか、1区の候補者が自民党、共産党しか決定していない状況の中では後援会活動の焦点が定まらないことから具体的な活動計画には議論が及ばなかった。

ロ) 会長、副会長、幹事長選任

会長、副会長、幹事長の辞任が表明されたが、その場で候補者が決定しなかったことから、暫定的に現体制を継続し、幹事長が新体制ができるまで事務を継続することとし、その旨を後援会会員に通知することに決定した。

以上

(追記)

後援会を継続し、新体制を樹立するための「選出委員会」を立ち上げたいと考えています。

「選出委員会」に参加してくださる方を募ります。

できるだけ多くの方のお知恵をお借りしたいので、多くの方のご参加をお願いいたします。

ご参加いただける方は、下山宏昭 (h-simo@ms2.megaegg.ne.jp) または電話 090-7776-5577) までお知らせいただくようお願いいたします。